



院外広報誌

地域の皆さまの健康をサポートいたします

札幌清田病院 だより

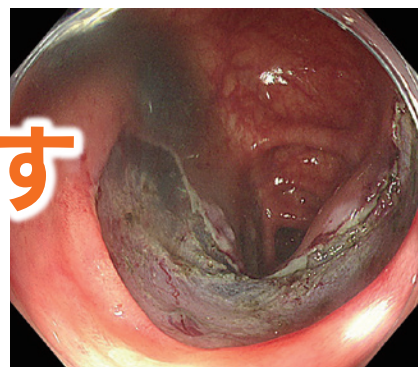


高精度の内視鏡システムを採用

消化器疾患の微細な病変も見逃しなく発見でき、早期発見・早期診断だけではなく精度の高い治療も可能です

内視鏡で 早期大腸がんを治療します

患者さんの負担を最小限に抑える
大腸ESDを実施しています

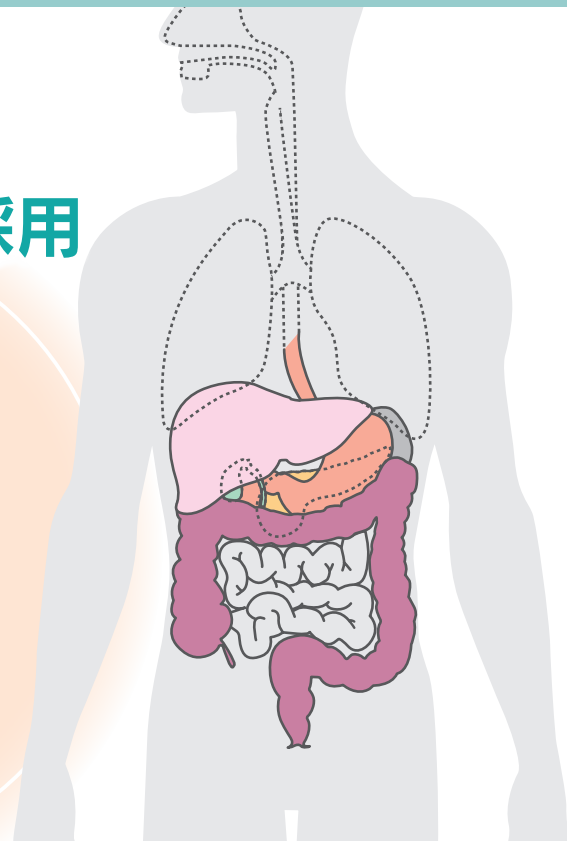


社会医療法人
札幌清田病院
理念

良質な専門医療を提供して地域社会に貢献する。
個別性と継続性を尊重した思いやりのある医療をめざす。

高精度の内視鏡システムを採用 内視鏡で 早期大腸がんを 治療します

患者さんの負担を最小限に抑える
大腸ESDを実施しています



日本人の胃がんが減少する一方で、大腸がんは増加しています。その背景には食生活や生活習慣の変化がありますが、大腸がん検診や精密検査の受診率の低さも影響しているといわれています。さらにコロナ禍で未受診期間が長くなり、早期発見できなかったケースもあります。札幌清田病院では、大腸がんを確実に発見する内視鏡検査と早期大腸がんを低侵襲で完治させる「大腸ESD」に積極的に取り組んでいます。



まつの てっぺい
消化器内科医長 **松野 鉄平**

内科・消化器内科・腫瘍内科

専門分野

消化器疾患全般

★患者さんから信頼を得られるよう会話を大切にしています。スポーツ観戦や6歳と3歳の子どもを連れて家族で出かけるのがリフレッシュになっています。



はやさか なおたか
消化器内科医長 **早坂 尚貴**

内科・消化器内科・腫瘍内科

専門分野

消化器内科、腫瘍内科

★患者さんに病気を正しく理解してもらえるよう、分かりやすい説明を心がけています。患者さんの疑問に答えながら、治療方針と一緒に考えたいと思っています。



おのやま なおき
消化器内科医長 **小野山 直輝**

内科・消化器内科

専門分野

消化器内科

★患者さんの気持ちに則して最適な医療を提供したいと思っています。健康管理は、炭水化物を食べ過ぎないことと、ドライブでの気分転換です。

日本人のがん罹患数 第1位は大腸がん

日本人の2人に1人ががんになる中で、男女合わせてもっとも罹患数（病気になる）が多いのは「大腸がん」です。大腸がんの死亡数の順位は男性2位、女性1位と高く、日本人の多くが大腸がんによって命を落としていることが明らかにになっています。

40歳を過ぎたら、便潜血検査による大腸がん検診に加えて、気になる症状がなくても大腸の内視鏡検査を一回は受け「自分の大腸の状態」を把握し、異常があれば定期的に内視鏡検査を継続することが、大腸がんを早期に見つける唯一の方法です。

大腸がんは、大腸粘膜（大腸内側の表面）に発生し、進行すると粘膜層から粘膜下層、筋層と深部に向かって広がります。粘膜下層の浅い部分までにとどまる早期の大腸がんは、リンパ節などへの転移リスクが非常に低いため、切除できればほぼ完治します。

当院では高精度の内視鏡システムやCT検査を用いて、治療前のがんの状態や進行度を正確に把握し、患者さんの年齢や基礎疾患、治療への希望などを確認しながら、消化器内科医と消化器外科医が連携して治療計画を立てます。

高精度の内視鏡システムを用いた 大腸がんESDを提供

早期大腸がんの患者さんには、病変を高周波ナイフで切り剥がす、大腸ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を提供しています。病変の大きさや形状に関係なく一括切除が可能で、患者さんの身体的負担を最小限に抑えながら完治を目指せます。

大腸ESDは曲がりくねった長い大腸の深部に内視鏡を挿入して行うため、技術的に難易度が高く、経験のある内視鏡専門医でなければ行えない治療です。大腸の壁は薄く穴が開きやすいため、安全・確実な操作が求められます。

当院では、高精度の内視鏡システムと内視鏡スコープや高解像度モニタを用いて、鮮明な画像で観察・確認をしながら、病変の下にある粘膜下層を高周波ナイフで薄く剥ぎ取っていきます。大腸のほぼ全域で内視鏡治療が可能です。内視鏡の専門的な訓練を受けている医師と看護師2人の3人体制で治療を行います。

治療時間は60～120分ほどで、入院期間は7日間前後です。退院後は通院で経過を診ます。治療の結果は1～2週間で判明します。

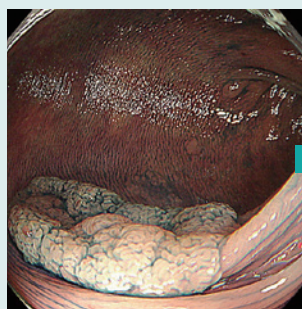
大腸ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術

Endoscopic Submucosal Dissection

※厚生労働省の施設基準を取得できた施設のみが行える治療です

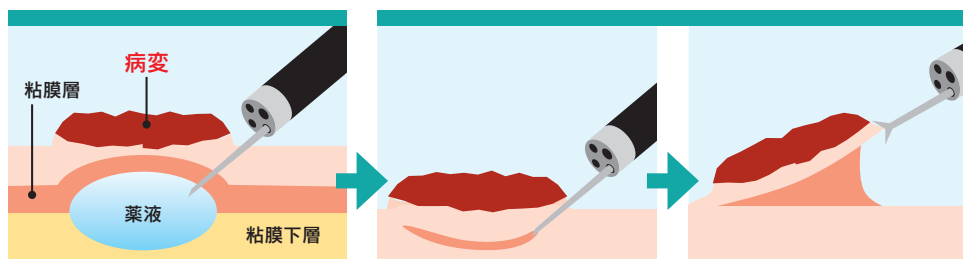
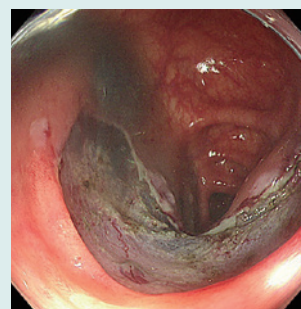
大腸ESD治療前

肛門から内視鏡を挿入し、特殊光や色素散布で病変の形状や広がりを確認します。内視鏡の拡大技術によって微細な病変も捉えることができます。



大腸ESD治療後

病変切除後の潰瘍は自然に閉鎖・治癒します。出血や穿孔（小さな穴が開く）のリスクがある場合はクリップ等で閉鎖することもあります。



病変の周囲から粘膜下層に向けて薬液を注入し、切除箇所のがんを浮き上がらせます。

病変の縁を高周波ナイフで切開し、粘膜下層から病変を少しずつ剥がしていきます。細い血管からの出血は、その都度止血します。切開と剥離をくり返し病変を一括で切除し、肛門から取り出します（切除した病変は病理診断を行い、がん細胞の性質やがんの進展度を調べます）。

大腸内視鏡治療ESDの利点

- 内視鏡室で治療を行える
- 早期がんであれば大きさに関係なく一括切除できる
- 開腹せずに病変を切除・回収できるため、侵襲（身体的負担）が少ない
- 大腸を温存できる

つながる
支える
連携医療機関

札幌清田病院では、地域の各医療機関と連携・協力しながら地域の皆さまに適切な医療を提供できる体制を整えています

つかはら 内科クリニック



一人一人に合わせたオーダーメイド診療

札幌市清田区平岡1条5丁目3-5 平岡ドクタータウン内

☎011-398-7153

内科、老年内科、漢方療法

日常の体調変化を病気の早期発見に生かす

清田区は高齢者やファミリー世帯が多く、幅広い年齢層の患者さんが来院されます。風邪や腹痛といった日常病や生活習慣病の医学的管理が主な役割ですが、中でも重要なのは日常の何気ない体調変化に重大な病気が隠れていないかを見つけ出すことです。専門的な検査や治療が必要と感じたら、専門医のいる地域の医療機関に連絡し対応をお願いしています。

消化器や血液のがん、関節リウマチなどが疑われる場合は札幌清田病院に連絡しています。同じ地区に精度の高い検査や高度な治療・手術に対応している病院があるのは頼もしい限りです。



塚原大輔 院長

3人（3歳・6歳・10歳）の子どもと一緒に遊ぶ時間がリフレッシュタイムです。学生時代は水泳やボート競技を楽しみましたが、現在は運動不足傾向にあるので「なるべく歩くこと」を心がけています。

血液検査装置で数値の変化を一緒に確認

血糖値やコレステロール値といった一般的な血液検査結果を診察時に患者さんにお伝えできるように「血液検査装置」を導入しています。同じ疾患でも患者さんの生活環境や生活習慣によって、体の状態や症状は変化します。患者さんの気になる症状を全て聞き取り、一人一人に合わせたオーダーメイド診療を提供したいと思っています。

老年内科を専門としてきた私の医師としての経験やネットワークが、患者さん一人一人の安心と健康維持につながるよう「なんでも相談できる、地域に根ざしたクリニック」を目指しています。



待合ロビー



血液検査装置

札幌清田病院への交通アクセス

●中央バス

JR 札幌駅 発	(80) 月寒本線 (85) (86) 清田団地線 (88) 真栄団地線	「清田団地入口」停 下車
中央バス 札幌ターミナル 発	(97) 千歳線・広島線 (96) 柏葉台団地線 (113) 大曲光線	
地下鉄南北線 平岸駅 発	(平50) 平岸線	
地下鉄東豊線 福住駅 発	(福80) 月寒本線 (福85・86) 清田団地線 (福87) 有明線 (福88) 真栄団地線 (福96・97) 柏葉台団地線 (福113) 大曲光線	「真栄」停 下車
地下鉄東西線 大谷地駅 発	(大87) 有明線 (大88) 真栄団地線	

外来診療時間のご案内

※受付は30分前から

診療科目		9:00	12:00	17:00
内科・消化器内科・ 腫瘍内科・血液内科・ リウマチ科	月～金	■	■	■
	土	■		
循環器内科	火・水・金	■	■	■
呼吸器内科	第1～第4土	■	■	■
外科・消化器外科・ 肛門外科・内視鏡外科	月～土	■	■	■

※緩和ケア内科については、お問い合わせください

【休診日】日・祝

※夜間・休日・時間外の急患は
当直医師により随時診療

【売店営業時間】
月～金 8:45～15:00
土 8:45～12:30



Quality of Life

社会医療法人 札幌清田病院

ホームページ

<http://kiyota-hp.or.jp/>

〒004-0831 札幌市清田区真栄1条1丁目1番1号 TEL: 011-883-6111 FAX: 011-882-7477